

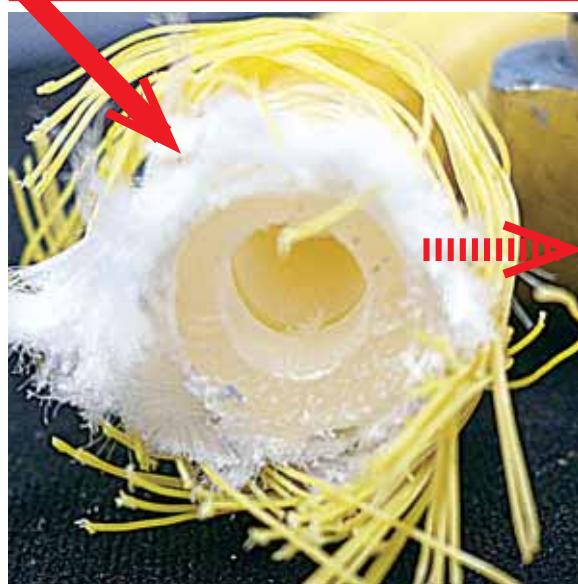
フレックスホースの新品定期交換のお願い

外装が編み込式のフレックスホースは、柔軟性に富み人気があるホースです。しかしフレックスホースは使用年数が経過するにつれ、内部の樹脂が劣化して行く場合があります。この場合、異常の兆候が見られないまま、劣化が進行している可能性もございます。

フレックスホースはエアリークが発生せず、ある時突然に劣化した樹脂がボロボロに砕けてしまい、その破片が2ndステージに混入する事でレギュレーターからエアリークを起こす危険性があります。日本の弊社では過去に2例発生しております(いずれも7~10年以上の使用年数が経過しておりました)。また、実例はありませんが、破片が“ふた”をしてしまいエアリークを止めてしまう潜在的な危険性も想像されます。従いまして、フレックスホースは **ご使用開始後必ず3年に1回の頻度で定期的な新品交換をお願い致します**。特に外装が変色しているものや、新品に比べて部分的に柔らかく感じるものは直ちに新品交換してください。



内側の樹脂が、紫外線や疲労や加水分解等により経年劣化して行きますが、外観から劣化が視認できません。また内部が劣化していてもエアリークが発生しないケースがあるために危険です。



最終的には劣化した樹脂が砕けてしまい、その破片がセカンドに入り込みセカンドステージからエアリークが発生します。

フレックスホースは柔軟性に富んだ素晴らしい製品ですが、安全の為に消費者に依る自主的な定期交換が必要です。またダイビング事業者様の強いご認識と、消費者への交換推奨をお願い申し上げます。